

66会 (ロクロク会) 総会 66回卒

平成26年10月25日(土)、66会総会が仙台市のウェスティンホテル仙台最上階37階「VISTA」で開催された。3年半前の東日本大震災直後、被災3県の8名に暖かい援助があり、気持ちだけでも御礼をという意味もあり、仙台でということになった。北海道から九州まで32名の出席があった。

司会は宮城県校友会前々会長の佐藤敏明君、開会は石巻の岩渕淳二君、議長に広島のアノ野峰基君を指名、15名の物故者への黙祷後、鈴木康仁代表幹事挨拶、松丸和郎君の会計報告、次回総会は大学創立110周年記念式典に合わせ東京で2016年11月に決まった。続いてインプラント学会会長の新潟生命歯学部渡邊文彦教授から、大学の授業にはインプラントの講義が組み込まれている。教授として研究、診療、教育に加えて新入生獲得活動の高校訪問という仕事が増えた。次の高橋英登日本歯科医師連盟副会長は、言いたいこと、言わなければならないこと、言っただけいけないこと?がたくさんあったようだ、議長からの「短く!あといっぶん」などの強い警告にもめげず、CAD/CAM診療時の注意点、保険診療の経済効率の悪さ、新しい自費Crownの話があった。日本歯科医師会および連盟の現状をもっと聞きたかったが、やはりいつまでも話が続き、終わりそうもないので、残念ながら終了。福島県猪苗代の齋藤



龍君の閉会挨拶にて総会は無事終了!
シャンシャン!!

お待ちかねの懇親会、司会は金井義明北海道校友会会長、ホテルのご好意によるシャンパンで乾杯、歓談が進む中、会員近況報告。途中で地元後輩達から美味しい地酒の差し入れがあり、さらに金井君仕切るところの北海道お土産フェア、全員でジャンケン大会 還暦を過ぎたオジサン、オバサンが、お土産をたくさん手にして盛り上がったところで、八戸の高山裕章君の閉会挨拶にてお開き。二次会も20数名の予想外の参加者、大きな会場に変更して閉店まで1970年代の青春を熱く語り合った。翌日は、全日本大学女子駅伝大会があり応援に行く人、井上ひさしの「青葉繁れる」の主人公が通った仙台一高と二女高の通学路を歩く人、美味しい牛タンを探す人など、66会同級生は秋晴れの仙台を楽しんで帰路についたようだ。(岩渕淳二 記)



66会(ロクロク会)総会 平成26年10月25日 於 仙台市 ウェスティンホテル仙台